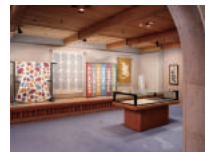


ご近所ぐるぐる Shizuoka **TRAVEL PLAN**

**静岡市内 d マークをたのしむプラン**

D&DEPARTMENT がデザインの視点からつくるトラベルガイドブック『d design travel』で取り上げた場所を「d マーク」と呼んでいます。演劇祭を観に静岡市に来たみなさんに、「d マーク」も一緒にたのしんでもらうべくトラベルプランをご提案します！



**静岡市立芹沢銈介美術館**

静岡市生まれの人間国宝、芹沢銈介が自ら1981年に開館。染色家に留まらず収集家・デザイナー・画家とも呼べる芹沢銈介の様々な魅力を感じられる空間。GW 期間は休まず開館、企画展「芹沢銈介の屏風」を開催しています。

車で約5分。  
徒歩でも約15分。



**D&DEPARTMENT SHIZUOKA by TAITA**

d 静岡店 DINING でお昼ごはん。静岡の食材をふんだんに使用した「静岡ごはん」がおすすめ。SHOP ではロングライフデザインをコンセプトに生活雑貨や食品、家具が並びます。GW 中は、浜松の染色家・山内武志さんの企画販売を開催！

車で約10分。  
坂が続くので徒歩・自転車で向うのはおすすめしません。



**ふじのくに地球環境史ミュージアム**

廃校を活用して生まれた、地球のこれからを考える県立博物館。展示方法がユニークで、楽しみながら学びがある時間を過ごせます。スタッフの方がいつもお話をしてくれるのが印象的。時間があれば地球家族会議に参加してみてください。

車で約15分。



**舞台芸術公園**

SPAC (静岡県舞台芸術センター) が「日本一の活動」をコンセプトに設立。劇場や稽古場は、地元の栗木や伊豆の若草石を使用した磯崎新氏の設計。演劇祭中は、上演があるのももちろん、bar やお茶摘みのイベントも開催！※ 日程等要確認

車で約25分。  
街中へ移動。



**愛ちゃん**

街中を散策して、「青葉おでん街」にある老舗で晩ごはんはいかがですか？創業より継ぎ足してきた出汁がしみた大根やこんにゃく、もつなどどれも絶品。静岡と言えば黒はんぺん、また「ロマンス」もぜひ食べて頂きたい愛ちゃんの味です。

**アートをたのしむプラン**

静岡県の魅力あるアートスポットを巡ってみませんか？

■ 静岡県立美術館

GW 期間中は企画展「屏風爛漫」を開催。静岡県立美術館コレクションを中心とする作品から花開く屏風絵の世界を堪能できます。

■ 静岡芸術劇場

JR 東静岡駅からすぐ、グランシップの先端部分に位置する舞台芸術のための専門施設。静岡に来たらずい演劇を楽しんでください。

■ 静岡市美術館

JR 静岡駅北口より地下道を利用して徒歩3分、葵タワー 3F にある街中の美術館。GW は「小倉遊亀と院展の画家たち展」を開催。

**景色をたのしむプラン**

山に海、両方の景色を楽しめる静岡県でのんびりと。

■ 舞台芸術公園

「自然と芸術が共存する公園」をテーマとして建設され SPAC の施設が点在しています。広い公園内へハイキングで訪れる人も。

■ 日本平夢テラス

県と静岡市によって2018年に完成。設計したのは隈研吾建築都市設計事務所。テラスからは富士山や南アルプス、360度のパノラマが広がります。

■ 久能山東照宮

海沿いの久能山下から石段を上って行くのも楽しいですが、日本平に車を置いてロープウェイで向えば片道5分で到着します。

**街中をたのしむプラン**

演劇祭の会場が点在している街中。演劇祭を回る道中、いろんなお店にちょこちょこ入ってみるのもまた楽しいですね。おすすめしたいお店をご紹介します。



**駿府城公園 東御門前広場**

5/2 (木・休)~5 (日・祝) の各日 11:00 ~ 18:30 まで地ビールや地元焙煎の珈琲、軽食などを楽しめる「フェスティバル garden」を開催しています。プロデューサーはスノドカフェ代表の柚木康裕さん。

店主のこだわりが詰まったお店が沢山あります！

**鷹匠散策**

■ ALLEE RESTAURANT

並木道沿いのビルの 2F にあるアレイでお昼ご飯。週替わりのパスタやサンドイッチ、カレーなど丁寧に盛りつけられたお料理がそれぞれ美味しい。ゆったりと過ごせるあたたかみのある空間。

■ グルノーブル

アレイ前の県道を渡って徒歩 2 分。グルノーブルは本格的なフランス菓子を作っているお店。パウンドケーキやサブレ、パイ菓子など、お土産にしても喜ばれること間違いなしです。

■ breffee STORE

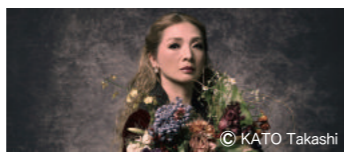
グルノーブルから徒歩 2 分。天然酵母パンとコーヒーのお店。コーヒーは注文を受けてから一杯ごとにじっくりと抽出。濃厚からさっぱりとしたものまで、コーヒー好きの方はぜひ。

■ NEUF

breffee STORE のすぐ近く。静岡市に来たらヌフをのぞきたいと思っている方は多いはず。クラフト、アート、プロダクトなどジャンルにとらわれない美しいものとの出会いがあるお店。

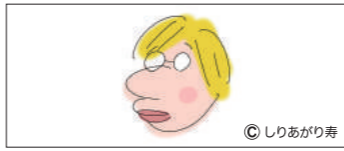
■ 子どもの本とおもちゃ 百町森

ヌフから徒歩 7 分。1979 年創業の子どもの本とおもちゃの専門店。ひとつひとつ丁寧にセレクトされたおもちゃがずらり。親子で遊ぶおもちゃの部屋、プレイオンも素敵な空間です。



**駿府城公園 紅葉山庭園前広場**

5/2(木・休)~5(日・祝) 18:45 から「マダム・ボルジア」が上演されます。屋外で見る演劇はまた格別。SPAC はどんな時間を届けようか。( 各回開演 35 分前よりプレトークあり。※要事前チケット購入)



**ガーデンカフェ ライフタイム**

5/3(金・祝)~6(月・休) の各日 19:00 ~ 23:00 の「しりあがり寿 presents ずらナイト」へ。静岡県出身の漫画家・しりあがり寿さんがホストとなりゲストと繰り広げる脱力系しゃべり場。( ※予約不要)

**d**  
DA&DEPARTMENT  
SHIZUOKA  
TAITA

**d 静岡店  
レンタサイクル  
やっています！**

d 静岡店にて自転車の無料貸出を行っています。ショップスタッフまでお気軽にお申し付けください。

**D&DEPARTMENT SHIZUOKA by TAITA**

静岡市駿河区高松1-24-10 TEL : 054-238-6678 定休日：火・水曜日 [ GW 期間中の祝日は営業いたします。] 営業時間：SHOP 11:30-19:30 DINING 11:30-22:00 (L.O 21:00)

**D&DEPARTMENT PROJECT**



**LONG LIFE DESIGN**



**WORLD THEATRE FESTIVAL SHIZUOKA**  
ふじのくにごせかい演劇祭

2019.4.27-5.6

**SPAC** TOP STAGES UNDER MT. FUJI !  
静岡芸術劇場 / 舞台芸術公園 / 駿府城公園 他

ON STAGE SHIZUOKA



D&DEPARTMENT は、47 都道府県それぞれにある「長く続くもの」・「その土地の個性＝らしさ」を選定し、[観光・飲食・買物・喫茶・宿泊・人物] の 6 つのカテゴリーを「d マークレビュー」として掲載したガイドブック『d design travel』を制作しています。

D&DEPARTMENT の感覚で確かめ、10 年後も継続する生命力と、地場からのメッセージをしっかりと持っている本当に感動した場所だけを紹介しています。

そんな『d design travel』静岡号で SIGHTS: その土地を知る観光として「SPAC (静岡県舞台芸術センター)」を、PEOPLE: その土地のキーマンとして宮城聡 (SPAC 芸術総監督) を紹介しています。

SPAC が各国から優れた舞台芸術作品を招聘・紹介する「ふじのくにごせかい演劇祭」の開催に伴い、演劇と一緒に楽しみたい会場周辺のおすすめスポットをご紹介します。



**ふじのくにごせかい演劇祭とは**

SPAC では、1999 年に開催された世界の舞台芸術の祭典「第 2 回シスター・オリンピックス」の成功を受けて、2000 年より「Shizuoka 春の芸術祭」を毎年行い、各国から優れた舞台芸術作品を招聘・紹介してきました。SPAC が活動 15 年目を迎えた 2011 年からは、名称を「ふじのくにごせかい演劇祭」と改め、新たなスタートを切りました。「ふじのくにごせかい演劇祭」という名称には、「ふじのくに (静岡県) と世界は演劇を通して、ダイレクトに繋がっている」というメッセージが込められています。静岡県の文化政策である「ふじのくに芸術回廊」と連携しながら、世界最先端の演劇はもちろん、ダンス、映像、音楽、優れた古典芸能などを招聘し、静岡で世界中のアーティストが出会い、交流する——そんなダイナミックな「ふじのくにと世界の交流 (ふじのくにごせかい)」を理念としています。

**SPAC- 静岡県舞台芸術センターとは**

公益財団法人静岡県舞台芸術センター (Shizuoka Performing Arts Center : SPAC) は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997 年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007 年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。13 年、全国知事会第 6 回先進政策創造会議により、静岡県の SPAC への取り組みが「先進政策大賞」に選出。18 年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価されました。